

那須の歴史
再発見!

那須町の 地域文化遺産

vol.3



大同地区の開拓碑

今回は、大同開拓農業協同組合と「開拓碑」について紹介します。

大同開拓農業協同組合は、元満洲開拓民である上の台開拓組合と桜ヶ丘開拓組合が合併してできた組合です。

上の台開拓組合の方々の多くは、満蒙開拓青少年義勇軍として現在の中国・黒竜江省に赴いた凌雲義勇隊開拓団出身者と、地元入植者で組織されていきました。昭和21年、元凌雲義勇隊開拓団長である佐藤修が、白河の中央開拓基地農場長に就任すると元団員や基地農場で訓練を受けた那須村出身の入植者らが、翌22年秋に当時の那須村に入植し、開拓を開始しました。

また桜ヶ丘開拓組合の方々は、昭和の初めに東京府深川にあった失業者用簡易宿泊所「天照園」を経営していた小坂

凡庸が、「天照園」宿泊者らを

東京市の後援で満州・通遼県（現内モンゴル自治区）へ移民させたことに始まります。天

照園移民と呼ばれた方々は、その後一裸樹開拓団を組織しました。戦後団員の方々は、

東京聖蹟桜ヶ丘の旧陸軍火薬工場跡に入植し桜ヶ丘開拓組合を組織しましたが、占領軍

に土地を接収されたため、那須村・山梨子地区に昭和22年9月に再入植しました。入植後は東京都による生活費・農具等の援助もありました。

しかし昭和26年になると、東京都の援助打ち切りや開拓資

金の先細りもあったため、両組合は合併し、大同開拓農業協同組合が誕生しました。「大同」の由来は、「大同団結」からきています。入植当初は、

ジャガイモ、サツマイモ、大豆などを育てましたが、昭和27・28年の冷害により、畑作

から開田によるコメづくりへの転換や乳牛の導入、四ツ川

を利用した水力発電所建設などが行われました。昭和39年にはりんどう湖が完成し、よ

大同集落センターには、昭和61年に建立された開拓碑、

同63年に建立され、牛・鶏・馬・豚が彫刻された畜魂碑があり

ます。また、大同開拓の記念誌も町立図書館にありますので、ぜひお読みください。

▼問合せ 那須歴史探訪館

☎ 74・7007



畜魂碑

かつこう

7月7日は七夕です。七夕という、離れ離れの織姫と彦星がこの日だけ天の川を渡り会うことが許されるという物語で、笹の枝を装飾し願い事を書いた短冊を結び、そんなイメージがありますが、もともとは中国の伝説で、日本に渡り日本の風習が掛け合わせり現代に伝わっているのだそうです。▼織姫と彦星は働かずに怠け

てしまったため天帝の怒りを買って引き離されてしまいました。仕事や学業など何事も勤勉に取り組むことはとても大切です。しかし、過ぎれば心身に不調を招きます。たまには一息つくことも必要ではないでしょうか。趣味に没頭したり、運動をしたり、旅行に行ったりしてリフレッシュするのもいいでしょう。パソコンやスマートフォンなどの画面から離れて近くの自然に目を向けると新しい発見があるかもしれませんよ。



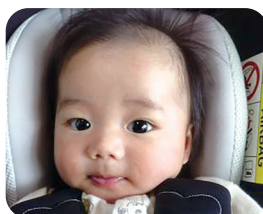
◀那須町 LINE 公式アカウントはこちらから追加できます



◀各月のできごとカメラスケッチに掲載しきれなかった写真をホームページで公開しています

こんにちは

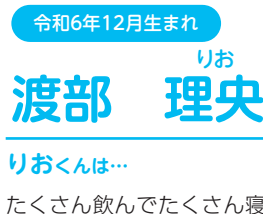
赤ちゃん



令和6年11月生まれ

あお 渡辺 碧くん

あおくんは…
元気に育つぞ!



令和6年12月生まれ

りお 渡部 理央くん

りおくんは…

たくさん飲んでたくさん寝ます!



「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。
詳しくは企画政策課広報広聴係（☎72-6935）まで。

町の世帯と人口

(6月1日現在・住民基本台帳) () の数字は前月比

・世帯数	10,841 世帯 (+ 18)	出生	3 人 (- 3)
・人口	23,425 人 (- 34)	死亡	31 人 (- 8)
	男 11,658 人 (- 35)	転入	91 人 (- 23)
	女 11,767 人 (+ 1)	転出	67 人 (- 13)
		その他	-9 人